

---

# 真・恋姫十無双 雲

さくらくら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真・恋姫十無双 雲

### 【Nコード】

N3972S

### 【作者名】

さくらくら

### 【あらすじ】

風間 夜雲かひま せぐもは日課の散歩をしていた時、トラックにひかれそうだった少年を庇い死んだ。その行為をたまたま見ていた神に「転生させてやんよ。ついでにおまけつきでwww。」との事で二回目的人生を歩んで行く……。そんな彼の熱く？波乱な夢のようなお話です。

プログラグってあったら小説っぽいよね(前書き)

いっちゃってちゃんよ!!--

## プロローグってあったら小説っぽいよね

突然ですがみなさん、僕は雲が好きです。

いつも大空をのらりくらりと風に吹かれて動いている。

時には雨、時には雷、時には雪、時には月に照らされより一層際立たせる。

雲は自由だ。

雲が擬人化したらきつと「HEY、ちよっくらプエルトリコまでいつてくるわ。」とかアホなこと言っつて悠々自適に生きるんだろっなあ。

とこの僕『風間 夜雲』は土日の日課の散歩をしながら思っていた。

僕は土日になると必ずと言っつていいほど散歩をする。

散歩をしながらこんなどうでもいいことを考えながら歩くのが好きだからだ。

今日は土曜日で久しぶりに早起き（と言っつても昼過ぎ）できたので、少し遠目の公園に来ていた。

ベンチに座り雲を目で追いながらぼけーとしている。

僕はぼけーとすると口が空いて、それはそれは間抜けな顔になってしまい意識して閉じてもまたすぐに空いてしまう。

まあどうでもいいけどね。

10分ぐらいしてそろそろ帰ろうとして立ち上がり公園の出口に向かい歩き出した。

帰ったらとりあえずエロゲだな。

と思いながら出口にさしかかると後ろからボールと男の子が出てきた。

ああ可愛い坊っちゃん。あぶないからエロゲし・・・じゃなくてあぶないから道路に出ちゃだめじゃんすよ、と思っていると道の先からトラックが走ってきた。

坊っちゃんはボールを追いかけるのに夢中で気づいていない。

トラックの運転手は眠りかけているのか気づいていない。

あれえ？ヤバくね？

思った時には体がうごいていた。

くっ!!..間に合え!!..!!..!!

ドン!!..!!..!!

大きな音と共に僕の意識はなくなっていった・・・。

プログラグってあったら小説っぽいよね(後書き)

みなさんこれからよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3972s/>

---

真・恋姫†無双 雲

2011年10月8日20時12分発行